

2015年度 研究センター事業報告書

研究センター名	認知科学研究センター
研究センター長名	文学部 教授 東山 篤規

I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

1. 研究会

認知科学研究センターでは、構成メンバーが相互に研究発表を行うことによって、自らの研究を促進させるとともに、外部資金を獲得するためにメンバー同士の共同研究の可能性を模索してきた。研究会は2015年10月を初回として、ほぼ2か月ごとに開いた。次の1から5に各研究会の演者と演題を示す。

- 2015年10月9日4時00分～ 衣笠キャンパス学而館第4研究会室
北岡明佳 「並置混色と明るさ・色の錯視の関係」
野間春生 「ヒトの触覚機能の再現を目指す触覚センサの開発」
田中省作 「速読教材における多様な「チャンク」の同定」
- 2016年1月15日4時30分～ BKC エポック立命21, K308
篠田博之 「視覚研究とその応用」
服部雅史 「論理的推論の確率モデルと推論の対称性」
高田秀志 「帰納型プログラミング学習環境構築の試み」
- 2016年3月17日4時30分～ 衣笠キャンパス学而館第2研究会室
林 勇吾 「擬人化エージェントを用いたインタラクションに関する認知科学的研究」
島川博光 「ふるまいの測定からのモチベーションの同定」
山本博樹 「高校生への説明と理解支援モデル」
- 2016年5月27日4時30分～ BKC エポック立命21K, 305
矢藤優子 「行動計測機器を用いた幼児の認知・社会的行動発達の指標化」
松村耕平 「自動車内インタラクションのデザイン」
丸山勝久 「ソフトウェア進化支援におけるプログラム理解活動の可視化」
- 2016年7月1日4時30分～ 衣笠キャンパス洋々館6F 第2研究会室
岡本雅史 「情報デザインの認知言語学的アプローチ—情報デザインから関係デザインへ」
田浦秀幸 「心理言語学研究におけるブレインイメージングデータ」
大石衡聴 「言語理解過程における一般的認知機能の役割について」

2. 講演会・学会などへの支援協賛

- 2015年11月に日本バーチャルリアリティ学会の「第16回力触覚の提示の計算研究会」がBKCにおいて開催され、本研究センターはそれに協賛して、東山篤規による講演「体性感覚による方向の知覚」を行った。
- 2015年12月15日に河原純一郎（北海道大学）による認知研究会学術講演会「注意と魅力の認知心理学」が衣笠において開催され、本研究センターはそれに協賛した。
- 2016年9月の立命館大学土曜講座「認知科学の冒険と発見」を担当することになった。演者として東山篤規、服部雅史、篠田博之、山本博樹（発表順）を予定している。

3. その他

- QOL相談室に、高校生や弁護士などから「騒音」に関する問い合わせがあり、それに対応した。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2016年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位	
センター長	東山 篤規	文学部	教授	
運営委員	北岡 明佳	総合心理学部	教授	
	服部 雅史	総合心理学部	教授	
	山本 博樹	総合心理学部	教授	
	土田 宣明	総合心理学部	教授	
	矢藤 優子	総合心理学部	教授	
	田中 省作	文学部	教授	
	岡本 雅史	文学部	准教授	
	林 勇吾	総合心理学部	准教授	
	大石 衡聰	総合心理学部	准教授	
	田浦 秀幸	言語教育情報研究科	教授	
	篠田 博之	情報理工学部	教授	
	野間 春生	情報理工学部	教授	
	島川 博光	情報理工学部	教授	
	高田 秀志	情報理工学部	教授	
	丸山 勝久	情報理工学部	教授	
	松村 耕平	情報理工学部	助教	
平井 慎一	理工学部	教授		
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	田村 昌彦	文学部	特任助教	
	京屋 郁子	総合心理学部	特任助教	
学内の若手研究者	専門研究員・研究員			
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
	博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍院生	廣瀬 翔平	文学研究科	博士後期課程院生
		富井 奈菜実	社会学研究科	博士後期課程院生
		Oransirikul Thongtat	情報理工学研究科	博士後期課程院生
		西田 勇樹	文学研究科	博士後期課程院生
	その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	河上 実樹	応用人間科学研究科	修士課程院生
	北村 文乃	文学研究科	修士課程院生	
	今本 恕	情報理工学研究科	博士前期課程院生	
	大坪 真悟	情報理工学研究科	博士前期課程院生	

	北田 哲也	情報理工学研究科	博士前期課程院生
	筒井 薫平	情報理工学研究科	博士前期課程院生
	山本 修平	情報理工学研究科	博士前期課程院生
	Phan Lac Phuc	情報理工学研究科	博士前期課程院生
	Rim Hajjami	情報理工学研究科	博士前期課程院生
	Nikolai Shumilin	情報理工学研究科	博士前期課程院生
	是常 雄大	情報理工学研究科	博士前期課程院生
	織田 涼	文学部	助手
	宮川 法子	文学研究科	博士前期課程院生
	佐久間紘樹	文学研究科	博士前期課程院生
客員協力研究員	多田 美香里	衣笠総合研究機構	客員協力研究員
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	Wallon, Philippe	パリ第8大学 LUTIN - Living Lab	Associate Researcher
	安梅 勅江	筑波大学	教授
	川口 英夫	東洋大学	教授
研究所・センター構成員 計 42 名 (うち学内の若手研究者 計 19 名)			

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2016年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	北岡 明佳	「新案錯視多角形」(pp.218-221) 細谷治夫・宮崎興二(編)「多角形百科」	分担執筆	2015年6月	丸善出版		218-221
2	北岡 明佳	おぼけトリックアート2 たんけん! おぼけじま	監修	2015年6月	あかね書房	グループ・コロンプス(構成・文)	
3	北岡 明佳	おぼけトリックアート3 おぼけめいろにチャレンジ	監修	2015年11月	あかね書房	グループ・コロンプス(構成・文)	
4	服部 雅史	思考と推論: 理性・判断・意思決定の心理学	共訳	2015年4月	北大路書房	山祐嗣	
5	服部 雅史	基礎から学ぶ認知心理学: 人間の認識の不思議	共著	2015年9月	有斐閣	小島治幸・北神慎司	
6	山本 博樹	まなびのガイドブック	共著	2016年3月	立命館大学総合心理学部	立命館大学総合心理学部	読む・整理する カー問い立て ようー
7	田浦 秀幸	科学的トレーニングで英語力は伸ばせる!	単著	2016年1月	マイナビ出版		全208頁
8	岡本 雅史	テキスト世界と現実世界の差異—動物の部位分布における3つのプロトタイプ効果—, 山梨正明(編)『認知言語学論考 No.12』	共著	2015年4月	ひつじ書房	加藤祥・荒牧英治	81-113

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	東山 篤規	Anisotropic perception of slant from texture gradient: Size contrast hypothesis	共著	2016 年 2 月	Attention, Perception, & Psychophysics(78/2 巻)	山崎校	647-662	無
2	東山 篤規	斜面をつくるきめの勾配刺激の複合性: J. J.ギブソンの遺した課題	単著	2016 年 3 月	立命館文学 (望月昭教授退職記念論集) (646 号)		43-58	査読有
3	北岡 明佳	錯視のニューロサイエンス	単著	2015 年 6 月	Annals of Neuroscience and Medical Engineering Meeting in Yamagata (山形ニューロサイエンス・医工学研究会会誌) (15 号)		1-6	無
4	北岡 明佳	Slope illusion (Magnetic Hills) in Radan.	単著	2015 年 7 月	ART AND ITS ROLE IN THE HISTORY: BETWEEN DURABILITY AND TRANSIENT -ISMS: Dedicated to the Memory of prof. Miodrag Jovanović, Ph.D (1932-2013)		751-760	査読有
5	北岡 明佳	Second-order footsteps illusions	共著	2015 年 12 月	i-Perception(6 巻 6 号)	Anstis, S	1-4	有
6	服部 雅史	他者の行動予測における検索容易性の間接的影響: 特性についての期待の影響からの検討	共著	2015 年 10 月	実験社会心理学研究(55 巻 1 号)	織田 涼・八木保樹	28-39	査読有
7	山本 博樹	カタカナ表記ガイドラインに対する学識者からの推薦のことは	単著	2015 年 9 月	テクニカルコミュニケーター協会 外来語 (カタカナ) 表記ガイドライン 第 3 版		43-43	無
8	山本 博樹	高校「倫理」教科書からの思想形成過程の理解に対する支援可能性-段落分け方略を介した支援の観点-	共著	2016 年 3 月	立命館文学(646 号)	織田涼・小島淳一	76-89.	無
9	土田 宣明	生きがい創造プログラムによる介入の高齢女子受刑者の主観的 well-being おける影響	共著	2015 年 8 月	心理臨床学研究(33 巻 3 号)	日下菜穂子・石川真理子・桂薫・小橋弘子・下村篤子・増田香織	263-274	査読有
10	土田 宣明	運動抑制の加齢変化-反応タイプの違いに注目して-	単著	2016 年 3 月	科学研究費補助金基盤研究 (C) 研究成果報告書			無
11	土田 宣明	効果器の違いが運動抑制に与える影響	単著	2016 年 3 月	立命館文学(646 号)		69-75	無
12	矢藤 優子	幼児におけるうそ行動の認知的基盤の検討	共著	2015 年 6 月	発達心理学研究(26 巻 2 号)	藤戸麻美	135-143	査読有
13	田浦 秀幸	第二言語ナラティブ時の脳賦活データによる言語臨界期説検証研究	単著	2016 年 3 月	立命館言語文化研究(27 巻 2&3 号)		117-125	
14	田浦 秀幸	バイリンガル・コードスイッチ脳賦活データによる臨界期仮説検証研究	単著	2016 年 3 月	立命館言語文化研究(27 巻 2&3 号)		127-131	
15	田浦 秀幸	大型 fNIRS 機 (OMM-3000) と携帯	単著	2016 年 3 月	立命館言語文化研究(27 巻 2&3 号)		133-143	

		型 fNIRS 機 (LIGHTNIRS) との 相関性研究						
16	田浦 秀幸	大 型 fNIRS 機 (OMM-3000)と簡易 fNIRS 機 (PocketNIRS) との 相関性研究	単著	2016 年 3 月	立命館言語文化研究(27 巻 2&3 号)		145-148	
17	田浦 秀幸	大 型 fNIRS 機 (OMM-3000)と簡易 携帯型脳波計(IBVA) との相関性研究	単著	2016 年 3 月	立命館言語文化研究(27 巻 2&3 号)		149-174	
18	大石 衡聴	いわゆる Semantic P600 は独立した意味処理ストリーム の存在を示す証拠たりえるのか?	単著	2016 年 3 月	九州大学言語学論集(36 巻)			無
19	篠田 博之	Single stimulus color can modulate vection	共著	2015 年 4 月	Frontiers in Psychology(6 巻)	Seya Y, Yamaguchi M	406	
20	篠田 博之	Up-down asymmetry in vertical vection	共著	2015 年	Vision Research(117 巻)	Yasuhiro Seya, Hiroyuki and Yoshiya Nakaura	16-24	
21	篠田 博之	Experience and training of a first person shooter (FPS) game can enhance useful field of view, working memory, and reaction time	共著	2016 年	International Journal of Affective Engineering(15 巻 3 号)	Yasuhiro Seya		
22	野間 春生	運動習慣獲得に向けたチームの効果を 用いる試み	共著	2016 年	生体医工学 Vol. 54 (2016) No. 2	鈴木真生,若尾あすか,松村耕平,多田 昌裕,黒田知宏	58-65	査読有
23	島川 博光	Family Members Identification with Brightness Distribution Sensors to Self-sustaining of Power as Personal Actions	共著	2015 年 11 月	Sensors & Transducers(Vol.194 巻 Issue 11 号)	Nobuaki Takaoka, Yusuke Kajiwara	114-122	査読有
24	島川 博光	Recognizing Conscientious Degree in Instrumental Activity of Daily Living from Brightness Distribution	共著	2015 年 11 月	Sensors & Transducers(Vol.194 巻 Issue 11 号)	Shota Shimayoshi, Shun Okamura, Yusuke Kajiwara	106-113	査読有
25	島川 博光	Estimating Human Physical States from Chronological Gait Features Acquired with RFID Technology	共著	2015 年 11 月	Sensors & Transducers(Vol.194 巻 Issue 11 号)	Yoshihiro Uemura, Yusuke Kajiwara, Jianlong Zhou, Fang Chen	76-83	査読有
26	島川 博光	Supporting for Visually Handicapped to Walk Around with RFID Technologies	共著	2015 年 11 月	Sensors & Transducers(Vol.194 巻 Issue 11 号)	Masayoshi Asano, Yusuke Kajiwara	69-75	査読有
27	島川 博光	農作業自動記録のための視点映像を用いた農作業判別	共著	2015 年	電気学会論文誌 C(135(9)巻)	稲田脩二, 梶原祐輔	1149-1150	査読有

28	島川 博光	足取り取得によるパーソナリティを考慮したユーザ状態の推定	共著	2015年	情報処理学会論文誌(Vol.56 巻No.12号)	植村喜弘, 梶原祐輔	1-12	査読有
29	島川 博光	Superior Factors to Distinguish Students to Be Cared in Introductory Programming Education	共著	2016年3月	IIAI Information Engineering Express Journal(Vol.2 巻No.1号)	Dinh Thi Dong Phuong		査読有
30	島川 博光	Touch Gesture and Pupil Reaction on Mobile Terminal to Find Occurrences of Interested Items in Web Browsing	共著	2016年	International Journal of Web Engineering(Vol.5 巻No.1号)	Shohe Ito, Yusuke Kajiwara, Fumiko Harada	1-9	査読有
31	島川 博光	Comparison between Touch Gesture and Pupil Reaction to Find Occurrences of Interested Item in Mobile Web Browsing	共著	2016年	International Journal of Latest Research in Engineering and Technology(Vol.2 巻No.1号)	Shohe Ito, Yusuke Kajiwara, Fumiko Harada	37-46	査読有
32	島川 博光	Extraction of Farming Work Rules to Improve Crop Quality with Multiple Regression	共著	2016年	International Journal of Latest Research in Engineering & Technology, (IJLRET)(Vol.2 巻No.2号)	Sunao Nakanishi, Yusuke Kajiwara, Dinh Dong Phuong,	10-19	査読有
33	丸山 勝久	Slicing Fine-Grained Code Change History	共著	2016年3月	IEICE Transaction on ED(E99-D 巻3号)	Takayuki Omori, Shinpei Hayashi	671-687	査読有
34	丸山 勝久	Supporting Merge Conflict Resolution by Using Fine-Grained Code Change History	共著	2016年3月	23rd International Conference on Software Analysis, Evolution, and Reengineering (SANER'16)	Yuichi Nishimura,		査読有
35	松村 耕平	自動車内における会話と場所の関連性の分析: タイムリーな情報の流通に向けて		2015年	情報処理学会論文誌(56 巻 4号)	角康之		
36	松村 耕平	ウェアラブル実況中継システム		2015年	情報処理学会(56 巻 5号)	竹川佳成		
37	松村 耕平	Treasure Hunt Game to Persuade Visitors to Walk around a Shopping Mall		2015年	In Proceedings of the 4th IEEE Global Conference on Consumer Electronics	Asuka Wakao, , Mao Suzuki and Haruo Noma		
38	松村 耕平	Studying User-Defined Gestures Toward Off-the-Screen Interactions		2015年	In Proceedings of the 2015 ACM International Conference on Interactive Tabletops and Surfaces			
39	松村 耕平	Stick'n conversation: stick in-car conversation into places using multi person finger pointing gestures		2015年	In Proceedings of the 7th International Conference on Automotive User Interfaces and Interactive Vehicular Applications (AutomotiveUI '15)	Tadashi Sakamoto, Haruo Noma, Yasuyuki Sumi		
40	松村 耕平	InCamShare: An Automatic Playlist Creator Employs Users' Shared Experience on		2015年	In Proceedings of the 12th IEEE International Conference on Ubiquitous Intelligence and Computing (UIC 2015)	Yasuyuki Sumi		

		Mobile Displays						
41	松村 耕平	Synthesis of omnidirectional movie using a set of key frame panoramic images		2015 年	In Proceedings of IEEE Virtual Reality (VR)	Robert Lopez-Gulliver, Takahiro Hatamoto, Haruo Noma	221-222	
42	松村 耕平	運動習慣獲得に向けたチームの効果を用いる試み	共著	2016 年	生体医工学	鈴木真生, 若尾あすか, 野間春生, 多田昌裕, 黒田知宏		
43	林 勇吾	Explanation Activities with a Pedagogical Agent in an Online Task: Lexical Network Analysis	単著	2015 年 4 月	Proceedings of ACM Conference on Human Factors in Computing Systems(CHI2013) WIP		1457-1460	査読有
44	林 勇吾	Psychological Effects of In-Group Activity Feedback in an Online Explanation Task: Lexical Network Analysis	単著	2015 年 6 月	Proceedings of the 8th International Conference on Educational Data Mining(EDM2015)		484-487	査読有
45	林 勇吾	Designing Pedagogical Agents to Evoke Emotional States in Online Tutoring Investigating the Influence of Animated Characters	共著	2015 年 7 月	Proceeding of the 15th International Conference on Human-Computer Interaction(HCII2015),(P. Zaphiris and A. Ioannou (Ed.): Learning and Collaboration Technologies, LNCS 9192, Springer)	Marutschke, M, D.	372-383	査読有
46	林 勇吾	Influence of Social Communication Skills on Collaborative Learning with a Pedagogical Agent: Investigation Based on the Autism-spectrum Quotient	単著	2015 年 10 月	Proceedings of the 3rd international conference on Human-Agent Interaction (HAI 2015)		135-138	査読有
47	林 勇吾	Analyzing Lexical Expressions in an Human-Agent Online Explanation Task: Influence of Affect and Characteristics	単著	2016 年 2 月	Proceedings of the 19th ACM Conference on Computer Supported Cooperative Work and Social Computing(CSCW2016) Companion		285-288	査読有
48	林 勇吾	Coordinating knowledge integration with pedagogical agents: Effects of agent gaze gestures and dyad synchronization	単著	2016 年	Proceeding of the 13th International Conference on Intelligent Tutoring Systems(ITS2016), Lecture Notes in Computer Science, Springer-Verlag)		254-259	査読有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	東山 篤規	Framing can enhance the perceived depth of a picture.	2015 年 8 月	The 38th Annual Meeting of European Conference on Visual Perception	下野孝一・相田紗織

2	東山 篤規	奥行き方向に伸びる交叉線：視空間のユークリッド性の検討	2015年11月	関西心理学会第127回大会	
3	東山 篤規	Determination of the Somatosensory Horizontal Plane.	2015年11月	Psychonomic Society's 56th Annual Meeting	
4	北岡 明佳	錯視・だまし絵の心理学	2015年7月	京阪神地区 6 大学フェスティバル 2015	
5	北岡 明佳	「ようこそ錯視アートの世界へ」(オカザえもんとの対談)	2015年7月	「錯覚体験ふしぎワールド」(名古屋市科学館)	
6	北岡 明佳	体験ワークショップ 錯視の世界を体験してみよう！(オカザえもんとの対談)	2015年8月	体験ワークショップ 錯視の世界を体験してみよう！	
7	北岡 明佳	Color constancy and the vein color illusion	2015年8月	38th European Conference on Visual Perception (ECPV)	
8	北岡 明佳	Spatial color mixture and its relevance to the Munker illusion	2015年8月	Illusion Parade, 38th European Conference on Visual Perception (ECPV)	
9	北岡 明佳	乗算的および加算の色変換による色の錯視	2015年9月	錯覚と数理の融合研究ワークショップ(第9回錯覚ワークショップ)	
10	北岡 明佳	視線方向知覚の左方向優位性の個人差	2015年9月	フォーラム顔学2015(第20回日本顔学会大会)	
11	北岡 明佳	顔の美しさ・好ましさ・魅力評価の不一致度の分析	2015年9月	フォーラム顔学2015(第20回日本顔学会大会)	光廣可奈子・尾田政臣
12	北岡 明佳	トリックアートに役立つ錯視	2015年10月	株式会社エス・デー内講演会	
13	北岡 明佳	錯視について	2015年10月	毛髪科学技術者協会(MGK)第140回学術大会	
14	北岡 明佳	画像と錯視	2015年11月	画像関連学会連合会第2回秋期大会	
15	北岡 明佳	2次刺激によるフットステップ錯視	2016年1月	日本視覚学会2016年冬季大会	Stuart Anstis
16	北岡 明佳	多原色光源表示装置を用いた色依存のフレーザー・ウィルコックス錯視の検証	2016年1月	日本視覚学会2016年冬季大会	松元明子・辻村誠一
17	北岡 明佳	ふしぎな錯視—錯視をデザインに活かす—	2016年2月	2016年色彩検定協会セミナー	
18	北岡 明佳	錯視のニューロサイエンス	2016年2月	立体協ラウンドテーブル〜錯視と視覚質感〜	
19	北岡 明佳	博士が教える科学教室 錯視工作	2016年2月	大垣市スイトピアセンター講演会	
20	北岡 明佳	二種類の並置混色とホワイト効果	2016年3月	第49回知覚コロキウム	
21	北岡 明佳	自転車の走行環境整備における知覚心理学の活用についての研究	2016年3月	2015年度未来の京都創造事業・成果報告会	對梨成一・林勇吾
22	服部 雅史	潜在手がかりがアイデアを抑制するとき：遠隔連想における負の閾下プライミング効果	2015年7月	日本認知心理学会第13回大会	織田 涼・西田勇樹
23	服部 雅史	Individual differences in the use of cues during insight problem solving	2015年7月	The 37th Annual Conference of the Cognitive Science Society	Orita, R.
24	服部 雅史	問題解決における潜在ヒント効果の不安定性	2015年9月	日本認知科学会第32回大会	織田 涼
25	服部 雅史	洞察問題解決における反応抑制とアイデア抑制	2015年9月	日本心理学会第79回大会	西田勇樹・V. カストルディ・織田 涼・L. マッキ
26	服部 雅史	潜在メタ認知：問題解決における非意識的情報の非意識的コントロール	2015年9月	日本心理学会第79回大会シンポジウム：「思考の意識性と無意識性」	
27	服部 雅史	遠隔連想課題における潜	2015年11月	関西心理学会第127回大会	西田勇樹・織田 涼

		在的手がかりと認知抑制			
28	山本 博樹	高校生における「先哲の思想形成過程」の理解困難性と支援可能性 (1)―支援は読解過程を通じて有効か?―	2015年8月	日本教育心理学会第57回大会	織田涼
29	山本 博樹	文系学生における統計の授業に関する調査	2015年8月	日本教育心理学会第57回大会	尾坂柚稀
30	山本 博樹	WM 容量の小さい学習者における手続き的説明文の読解過程に対する支援可能性―本当に後置質問は役立つのか?―	2015年8月	日本教育心理学会第57回大会	小島淳一
31	山本 博樹	高校生における「先哲の思想形成過程」の理解困難性と支援可能性 (2)―いかに支援が無効化するのか?―	2015年9月	日本心理学会第79回大会	織田涼
32	山本 博樹	学習支援研究がひらく豊かな生涯 (2) ―高齢者への支援は日常生活の質を高めるか?―	2015年9月	日本心理学会第79回大会	
33	土田 宣明	The d2-R test of attention; the comparison Between French and Japanese elderly people	2015年7月	The 14th European Congress of Psychology	Yato, Y., Hirose, S., Wallon, P., Mesmin, C. & Jobert, M.
34	矢藤 優子	Japanese Children's Drawing Processes and Performance on Bender Gestalt Test: Analysis Using a Digital Pen	2015年5月	Association for Psychological Science the 27th Annual Convention	Hirose, S., Wallon, P., Mesmin, C., & Jobert, M.
35	矢藤 優子	The d2-R test of attention; The Comparison between French and Japanese elderly people.	2015年7月	14th European Congress of Psychology	Hirose, S., Tsuchida, N., Wallon, P., Mesmin, C., Jobert, M.
36	矢藤 優子	乳幼児の集団保育場面で発生した「かみつき」・「ひっかき」事例について: 保育士による縦断調査の結果から	2015年9月	日本心理学会第79回大会	廣瀬翔平・山崎智美・杉本五十洋
37	矢藤 優子	d2-R テストを用いた視覚的注意の測定と発達的变化: 日独比較による検討	2015年11月	2015年度立命館大学人間科学研究所年次総会	廣瀬翔平・土田宣明・Philippe Wallon・Claude Mesmin・Matthieu Jobert
38	田浦 秀幸	「日英バイリンガル園児のメタ認知力の発達と脳賦活」 「オーガナイズドセッション 03 バイリンガルと認知」の1本	2015年9月	日本認知科学会第32回大会	
39	岡本 雅史	ファシリテーションにおける響鳴―個人内の理解から集団内の共有化へ―	2015年9月	社会言語科学会第36回研究大会 ワークショップ「まちづくりの話し合い学―言語学・社会学からのアプローチ―」	
40	岡本 雅史	聞き手行動が孕む二重の他者指向性―漫才のツッコミは何を行っているのか―	2016年1月	ラウンドテーブル『<聞く・聴く・訊く>こと―聞き手行動の再考―』	
41	岡本 雅史	教室談話の相互行為的制度的性―中学校での授業場面における挙手行動の観察から―	2016年3月	社会言語科学会第37回研究大会	小出優子
42	岡本 雅史	インタラクティブ・リアリティ試論―腹話術師のリスナーシップの観察から―	2016年3月	VNV10周年記念大会「VNV研究のこれまでとこれから」	
43	大石 衡聡	二次的課題やフィラー文がP600に及ぼす影響について	2016年2月	坂本勉記念神経科学研究会	

44	篠田 博之	Space Brightness Affected by a Scenic View through a Window	2015 年 5 月	AIC2015 Mid-term Meeting	Shogo Yamada, Ryousuke Tanaka, and Yasuhiro Seya
45	篠田 博之	人の視覚特性と光・色彩工学への応用	2015 年 5 月	電気設備学会 関西支部総会 記念講演	
46	篠田 博之	Degradation of display image due to glare of ambient light evaluated by using a visibility matching technique and analysis of their spatial frequency characteristics	2015 年 7 月	APCV2015	Yusuke Fujimoto, and Yasuhiro Seya
47	篠田 博之	Scenic views through a window affect the perception of space brightness of a room	2015 年 7 月	APCV2015	Shogo Yamada, Yasuhiro Seya and
48	篠田 博之	Images on a transparent display with a uniform gray background evaluated by visibility matching and degradation category rating	2015 年 7 月	APCV2015	Kohei Oku, and Yasuhiro Seya
49	篠田 博之	Relationships between scene perception and visual search performance	2015 年 7 月	APCV2015	Yasuhiro Seya
50	篠田 博之	Relationship between vection and visually evoked postural responses	2015 年 7 月	APCV2015	Ryo Yamaji, Yasuhiro Seya
51	篠田 博之	Psychophysics and Human Visual Perception	2015 年 7 月	Seminar at Color Research Center, RMUTT	
52	篠田 博之	Color management system for identical color appearance across different illuminations	2015 年 8 月	ECVP2015	Naoki Kurita, and Yasuhiro Seya
53	篠田 博之	The perception of shadows and the apparent brightness in the space	2015 年 8 月	ECVP2015	Rumi Tokunaga, Hirotaka Urabe and
54	篠田 博之	Brightness perception for a room with a scenic view through the window	2015 年 8 月	ECVP2015	Shogo Yamada, Yasuhiro Seya
55	篠田 博之	Degradation of display image due to glare of ambient light evaluated by visibility matching and degradation category rating	2015 年 8 月	ECVP2015	Fujimoto Yusuke, and Yasuhiro Seya
56	篠田 博之	Up-down asymmetry in vertical vection	2015 年 8 月	ECVP2015	Yasuhiro Seya, and Yoshiya Nakaura
57	篠田 博之	Relationship between vection and body sway	2015 年 8 月	ECVP2015	Ryo Yamaji, Yasuhiro Seya
58	篠田 博之	色彩の生理学・心理学(1)	2015 年 8 月	色彩講座基礎編 2015	
59	篠田 博之	照明光への色順応を考慮したディスプレイカラーマネジメント	2015 年 10 月	Optics & Photonics Japan 2015	栗田直樹, 瀬谷安弘
60	篠田 博之	ベクションにおける色彩と奥行き手がかりの影響	2015 年 10 月	Optics & Photonics Japan 2015	山口慧, 瀬谷安弘,
61	篠田 博之	外光によるディスプレイの見えの映り込み評価	2015 年 10 月	Optics & Photonics Japan 2015	藤本悠介, 瀬谷安弘

62	篠田 博之	ベクションと重心動揺の関係	2015年10月	Optics & Photonics Japan 2015	山地亮, 瀬谷安弘,
63	篠田 博之	風景窓から入射する昼光に影響される空間の明るさ感評価	2015年10月	Optics & Photonics Japan 2015	山田翔吾, 瀬谷安弘
64	篠田 博之	視覚研究とその応用	2016年1月	立命館大学認知科学研究センター第2回研究会	
65	篠田 博之	透過型ディスプレイの視認性評価	2016年3月	日本色彩学会関西支部大会	奥亙平, 瀬谷安弘
66	篠田 博之	質感と色の見え	2016年3月	第4回次世代光学素子研究会	
67	野間 春生	MEMS 多軸触覚センサを用いた定量的質感計測のための基礎検討	2015年5月	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015(ROBOMECH2015)	橋 賢太 ,安部 隆 ,奥山 雅則,寒川 雅之
68	野間 春生	てくピコ:ショッピングモールにおける 宝さがしゲームによる周遊行動の誘導	2015年5月	情報処理学会研究報告 2015-HCI-163	若尾あすか,鈴木真生,松村耕平
69	野間 春生	Bluetooth Roaming for Sensor Network System in Clinical Environment	2015年8月	Mediinfo2015	Tomohiro Kuroda,Kazuhiko Takase, Shigetou Sasaki,Tadamasa Takemura
70	野間 春生	仮想ロボットコンテストのフレームワークの開発と実証実験	2015年9月	日本バーチャルリアリティ学会大会	園田 基貴, 下田 昂平, 松村 耕平,RobertoLopez-Gulliver;
71	野間 春生	素振りを効果的に実施できる練習支援システムの開発	2015年9月	日本バーチャルリアリティ学会大会	木将樹,樋口貴俊,松村耕平,Roberto Lopez-Gulliver,伊坂忠夫
72	野間 春生	トレッドミル上での全周囲映像提示におけるキーフレーム画像間隔に関する研究	2015年9月	日本バーチャルリアリティ学会大会	富 宗一郎,松村耕平,Roberto Lopez-Gulliver;
73	野間 春生	運動習慣獲得におけるチームの効果	2015年9月	生体医工学シンポジウム 2015	鈴木真生,若尾あすか,松村耕平,多田昌裕,黒田知宏
74	野間 春生	Development of a Virtual Robot Competition Framework: Anybody Can Join Anytime from Anywhere	2015年9月	Asian Joint Workshop on Information Technologies	Motoki Sonoda,Kohei Matsumura,Roberto Lopez-Gulliver
75	野間 春生	Treasure Hunt Game Persuades Visitors to Walk Around the Shopping Mall	2015年9月	Asian Joint Workshop on Information Technologies	Asuka Wakao, Kohei Matsumura
76	野間 春生	Synthesis of Omnidirectional Movies: Study of their Perception while Walking on a Treadmill	2015年9月	Asian Joint Workshop on Information Technologies	Soichiro Tomitaka ,Kohei Matsumura,Roberto Lopez-Gulliver
77	野間 春生	Supporting nurses' work and improving medical safety using a sensor network system in hospitals	2015年9月	2015 Innovation in Medicine and Healthcare	Misa Esashi,,Tomo Kuroda
78	野間 春生	運動習慣の獲得を補助するシステムてくピコの提案	2015年9月	ヒューマンインタフェースシンポジウム	鈴木真生,若尾あすか,杉山治,松村耕平,多田 昌裕,黒田知宏,
79	野間 春生	センサブロープとしてのイヤフォンの可能性の検討	2015年9月	ヒューマンインタフェースシンポジウム	田中 瑞輝,若尾あすか,松村耕平
80	野間 春生	Stick'n Conversation: Stick In-car Conversation into Places using Multi Person's Finger Pointing	2015年9月	AutomotiveUI 2015	Kohei Matsumura ,Tadashi Sakamoto ,Yasuyuki Sumi ,
81	野間 春生	Treasure Hunt Game to Persuade Visitors to Walk Around a Shopping Mall	2015年10月	2015 IEEE 4th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE)	Asuka Wakao, Kohei Matsumura, Mao Suzuki and Haruo Noma

82	野間 春生	Treasure Hunt Game to Persuade Visitors to Walk Around a Shopping Mall	2015 年 10 月	2015 IEEE 4th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2015)	Asuka Wakao, Kohei Matsumura, Mao Suzuki
83	野間 春生	時間応答性の異なる検知部を集積したマイクロロッチレバー型 触覚センサの基礎検討	2015 年 10 月	センサーシンポジウム 2015	河野壮, 安部隆, 奥山雅則, 寒川雅之
84	野間 春生	時間応答性の異なる検知部を集積したマイクロロッチレバー型 触覚センサの基礎検討	2015 年 11 月	センサーシンポジウム 2015	奥山雅則, 寒川雅之
85	野間 春生	Characterization of BiFeO3 thin film for tactile sensor using microcantilevers with piezoelectric capacitor and strain-gauge	2015 年 11 月	IEEE-Sensor 2015	Takeshi Kohno, Takashi Abe, M.Okuyama, M.Sohgawa
86	野間 春生	Basic Study for Tactile and Visual Texture Measurement by Multimodal MEMS Sensor with Force and Light Sensitivity	2015 年 11 月	IEEE-Sensor 2015	Kenta Takahashi, Takashi Abe, M.Okuyama, M.Sohgawa
87	野間 春生	MEMS 多軸触覚センサを用いた定量的質感計測のための基礎検討	2015 年 11 月	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015(ROBOMECH2015)	奥山雅則, 寒川雅之
88	野間 春生	新生児蘇生法の訓練シミュレータの開発	2015 年 11 月	第 126 回 ヒューマンインタフェース学会研究会「看護用具・用品開発に関する研究および一般 (SIG-HC-12)」	西原美夏, 松村耕平, 西澤和子, 黒田知宏
89	野間 春生	運動意欲を生み運動習慣の獲得を円滑にする手法の提案	2015 年 11 月	日本医療情報連合大会	鈴木真生, 若尾あすか, 松村耕平, 多田昌裕
90	野間 春生	災害急性期における通信の断絶した被災地での通信手段の提案	2015 年 12 月	第 23 回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ (WISS2015)	森 琢郎, 松村 耕平
91	野間 春生	病院情報システムにおける位置情報の活用	2015 年 12 月	電子情報通信学会 HCG シンポジウム 2015	黒田知宏, 竹村匡正
92	野間 春生	近接覚・触覚コンポセンサの光検出感度最適化	2016 年 3 月	電気学会交通・電気鉄道/フィジカルセンサ合同研究会	野沢 瑛斗, 奥山 雅則, 安部 隆, 寒川雅之
93	野間 春生	センサ組み込み型聴診器を用いた新生児蘇生法訓練シミュレータの提案	2016 年 3 月	インタラクション 2016	西原 美夏, 魏 亞光, 松村 耕平, 西澤 和子, 黒田 知宏
94	野間 春生	オノマトペのイメージを考慮した可視化による子どもたちの表現能力向上の試み	2016 年 3 月	インタラクション 2016	中佐古 真実, 松村 耕平
95	平井 慎一	振動駆動式無拘束空気圧弁を利用した空気圧マニピュレータの位置制御	2015 年 5 月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015	樋口 涼樹, 加藤 和大
96	平井 慎一	病理学解析と手術支援のための扁平足の有限要素モデリング	2015 年 5 月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015	王 忠奎
97	平井 慎一	並進 4 自由度柔軟 3 指ハンドによる多様な物体の把持	2015 年 5 月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015	望月 大督
98	平井 慎一	Soft 3D Tactile Sensor for Artificial Fingertips - Design, Fabrication and Testing of the Sensor -	2015 年 5 月	Robotics and Mechatronics Conference 2015	Damith Suresh Chathuranga
99	平井 慎一	Aerial Grasping and Load Transportation Using Multirotor Helicopters Towards Moving Long-size	2015 年 5 月	Robotics and Mechatronics Conference 2015	Javier Molina

		Payload			
100	平井 慎一	Recognition of Underwater Creatures Using SIFT and Bag-of-words Model	2015 年 5 月	Robotics and Mechatronics Conference 2015	Han Yechen
101	平井 慎一	ハンド搭載小型飛行ロボットのための自動把持システムの検討	2015 年 5 月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015	島原 祥平, 和田 真幸, Robert Ladig, Leewiwatwong Suphachart, 下ノ村 和弘
102	平井 慎一	ピック&ブレースを目的とした小型自律移動マニピュレータの開発	2015 年 5 月	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2015	井上 貴浩, 小野 由美子, 宮田 龍一
103	平井 慎一	FE Modeling of a Flatfoot Deformity for Improving Surgical Planning	2015 年 5 月	SIMULIA Community Conference	Zhongkui Wang, Kan Imai, Masamitsu Kido, Kazuya Ikoma,
104	平井 慎一	Binding of Food Materials with a Tension-Sensitive Elastic Thread	2015 年 5 月	IEEE Int. Conf. on Robotics and Automation	Hisashi Iwamasa
105	平井 慎一	An Anthropomorphic Tactile Sensor System with its Applications in Dexterous Manipulations	2015 年 6 月	5th Annual IEEE Int. Conf. on CYBER Technology in Automation, Control, and Intelligent Systems	Damith Suresh Chathuranga, Zhongkui Wang,
106	平井 慎一	Study on Fingertip Slippage using FE Model for Developing Human-Like Tactile Sensor	2015 年 6 月	2015 Int. Conf. on Real-time Computing and Robotics (RCAR 2015)	Zhongkui Wang, Damith Suresh Chathuranga,
107	平井 慎一	Origami Structure toward Floating Aerial Robot	2015 年 7 月	IEEE/ASME Int. Conf. on Advanced Intelligent Mechatronics (AIM2015)	Phuong Le, Zhongkui Wang, and Shinichi Hirai
108	平井 慎一	Study on the Human Perception of Incipient and Overall Slippages Using A 2D FE Fingertip Model	2015 年 8 月	The 37th Annual Int. Conf. of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC 2015)	Wang Zhongkui, Damith Suresh Chathuranga Katudampe Vithanage, and Shinichi Hirai
109	平井 慎一	Disposable Soft 3 Axis Force Sensor for Biomedical Applications	2015 年 8 月	The 37th Annual Int. Conf. of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC 2015)	Damith Suresh Chathuranga Katudampe Vithanage, Wang Zhongkui, Yohan Noh, Thrishantha Nanayakkara, and Shinichi Hirai
110	平井 慎一	Embedded Electro-Conductive Yarn for Shape Sensing of Soft Robotic Manipulators	2015 年 8 月	The 37th Annual Int. Conf. of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC 2015)	Helge Arne Wurdemann, Sina Sareh, Ali Shafti, Yohan Noh, Angela Faragasso, Damith Suresh Chathuranga Katudampe Vithanage, Hongbin Liu, Shinichi Hirai, and Kaspar Althofer
111	平井 慎一	Measuring McKibben Actuator Shrinkage using Fiber Sensor	2015 年 9 月	The 24th Int. Symp. on Robot and Human Interactive Communication (RO-MAN 2015)	Van Anh Ho and Shinichi Hirai
112	平井 慎一	Micro Pneumatic Valves for Robotic Wearable Systems	2015 年 9 月	The 24th Int. Symp. on Robot and Human Interactive Communication (RO-MAN 2015)	Shinichi Hirai and Kazuhiro Kato
113	平井 慎一	窓拭き掃除可能な飛行ロボットの開発	2015 年 9 月	第 33 回日本ロボット学会学術講演会 (RSJ2015)	野崎 達也, 平井 慎一
114	平井 慎一	感圧導電糸を用いた食品のバインディング	2015 年 9 月	第 33 回日本ロボット学会学術講演会 (RSJ2015)	岩政 恒史, 平井 慎一
115	平井 慎一	Study of Surgical Simulation of Flatfoot Using a Finite Element Model	2015 年 9 月	Innovation in Medicine and Healthcare 2015 (InMed 2015)	Zhongkui Wang, Kan Imai, Masamitsu Kido, Kazuya Ikoma, and Shinichi Hirai
116	平井 慎一	Aerial Manipulation for the Workspace above the Airframe	2015 年 9 月	2015 IEEE/RSJ Int. Conf. on Intelligent Robots and Systems (IROS 2015)	Syohei Shimahara, Robert Ladig, Suphachart Leewiwatwong, Shinichi Hirai, and Kazuhiro Shimonomura
117	平井 慎一	A Robotic Joint Design by Agonist and Antagonist Arrangement with Twisting Small-Diameter	2015 年 9 月	2015 IEEE/RSJ Int. Conf. on Intelligent Robots and Systems (IROS 2015)	Takahiro Inoue, Sizuka Yamamoto, Ryuichi Miyata, and Shinichi Hirai

		Round-Belts			
118	平井 慎一	Robust Real Time Material Classification Algorithm Using Soft Three Axis Tactile Sensor: Evaluation of the Algorithm	2015 年 9 月	2015 IEEE/RSJ Int. Conf. on Intelligent Robots and Systems (IROS 2015)	Damith Suresh Chathuranga Katudampe Vithanage, Zhongkui Wang, Yohan Noh, Thirishantha Nanayakkara, and Shinichi Hirai
119	島川 博光	Superior Factors to Predict Learning Status.	2015 年 7 月	Proc. of 4th International Conference on Learning Technologies and Learning Environments(LTLE2015)	Dinh Thi Dong Phuong,
120	島川 博光	Navigating for Visually Handicapped to Walk Alone with RFID Technologies	2015 年 8 月	Proc.of the Sixth International Conference on Sensor Device Technologies and Applications	Masayoshi Asano, Yusuke Kajiwara
120	島川 博光	Figuring Out Conscientious Degree from Brightness Distribution in IADL	2015 年 8 月	Proc.of the Sixth International Conference on Sensor Device Technologies and Applications	Shota Shimayoshi, Shun Okamura, Yusuke Kajiwara
121	島川 博光	Estimating Consumer Inclination for Agricultural Products from Web Browsing History	2015 年 8 月	Proc.of the Seventh International Conference on Advances in Future Internet	Riki Tatsuta, Sunao Nakanishi, Yusuke Kajiwara
122	島川 博光	Key Features to Classify Shopping Customer Status from Gait Pattern Acquired with RFID Technology	2015 年 8 月	Proc.of the Sixth International Conference on Sensor Device Technologies and Applications	Yoshihiro Uemura, Yusuke Kajiwara
123	島川 博光	Identification of Personal Actions with Brightness Distribution Sensors to Harmonize Domestic Affairs	2015 年 8 月	Proc.of the Sixth International Conference on Sensor Device Technologies and Applications	Nobuaki Takaoka, Yusuke Kajiwara
124	島川 博光	電子タグを用いた単独歩行視覚障害者の誘導	2015 年 9 月	第 14 回情報科学技術フォーラム	浅野正義, 梶原祐輔, 島川博光
125	島川 博光	Investigating Touch Gestures and Pupil Movements on Mobile Terminal to Find Attractive Areas in Web Browsing	2015 年 12 月	Proc. ISER 18th International Conference on Recent Trends in Engineering and Technology (ICRTET-2015)	Shohe Ito, Yusuke Kajiwara, Fumiko Harada
126	島川 博光	Cultivation Support with Extraction of Farming Work Rules	2015 年 12 月	Proc. ISER 18th International Conference on Recent Trends in Engineering and Technology (ICRTET-2015)	Sunao Nakanishi, Yusuke Kajiwara, Dinh Dong Phuong
127	島川 博光	Navigation System for Visually Handicapped Person on Street by ANT Colony Optimization	2015 年 12 月	Proc. ISER 18th International Conference on Recent Trends in Engineering and Technology (ICRTET-2015)	Yusuke Kajiwara, Hiroki Kitamura
128	島川 博光	Recommendation System for Tourist Attraction based on Pre-image and Review	2015 年 12 月	Proc. ISER 18th International Conference on Recent Trends in Engineering and Technology (ICRTET-2015)	Yoshihiro Uemura
129	島川 博光	Analyzing Transitions of Motivation and Learning Strategy with Ward Hierarchical Clustering	2015 年	Proc. of 2015 International Conference on Industrial Application Engineering	Phuong Dinh Thi Dong
130	島川 博光	おもてなしのための足取りベクトルによる顧客の状態推定	2015 年	第 14 回情報科学技術フォーラム	植村喜弘, 梶原祐輔
131	島川 博光	日常生活を想定した輝度分布センサによる家庭内行動の視覚化	2015 年	第 14 回情報科学技術フォーラム	高岡伸明, 梶原祐輔

132	丸山 勝久	プログラム編集履歴を用いた版管理システムでの競合解決支援	2015年9月	日本ソフトウェア科学会第32回大会 [一般4-3]	西村雄一
133	丸山 勝久	バグ情報を含むソフトウェアの視覚化	2015年9月	日本ソフトウェア科学会第32回大会 [FOSE1-2]	前田竜馬
134	丸山 勝久	フレームベースリファクタリング ～その概念と意義～	2015年11月	日本ソフトウェア科学会 FOSE2015	林晋平, 吉田則裕, 崔恩滯
135	丸山 勝久	Java における関数型インタフェースの拡張	2015年11月	日本ソフトウェア科学会 FOSE2015	三宅阜, 紙名哲生
136	丸山 勝久	層の組み合わせを考慮した文脈指向プログラミング支援	2015年11月	日本ソフトウェア科学会 FOSE2015	鈴木紀之, 紙名哲生
137	高田 秀志	Position Estimation for People Waiting in Line Using Bluetooth Communication	2015年5月	Fifth International Conference on Mobile Services, Resources, and Users	Nishide, R., Yamamoto, S
138	高田 秀志	タブレット端末間での手渡し動作による情報共有方法の協調作業への効果の検証	2015年5月	情報処理学会研究報告	今本 恕
139	高田 秀志	協調作業支援システムへの紙媒体による作業の特徴の活用に関する考察	2015年10月	情報処理学会研究報告	今本 恕
140	高田 秀志	携帯端末を利用するアドホックグループのための Orientation-Aware な情報共有環境	2015年10月	情報処理学会研究報告	塩見和則
141	高田 秀志	Influence Maximization in Signed Social Networks	2015年11月	16th International Conference on Web Information Systems Engineering	Shen, C., Nishide, R., Piumarta, I., Liang, W.
142	高田 秀志	協調 Web 検索におけるコンテキスト中断防止のためのスマートウォッチの利用法	2016年3月	インタラクティブシンポジウム2016	是常 雄大, 今本 恕, 塩見 和則
143	高田 秀志	複数人による操作共有が可能な協調地図システム	2016年3月	インタラクティブシンポジウム2016	松原 理紗, 筒井 薫平, 塩見 和則
144	高田 秀志	携帯端末を利用するアドホックな対面協調作業のためのカメラを活用した方向認識手法	2016年3月	インタラクティブシンポジウム2016	塩見 和則
145	高田 秀志	A Tablet-Based Puzzle Game to Solve the Problem of Children's Illiteracy in Developing Countries	2016年3月	The 10th annual International Technology, Education and Development Conference	Kumpei Tsutsui, Shehrevar Davierwala
146	高田 秀志	端末間無線通信を用いた多端末間コンテンツ共有ネットワークの構築	2016年3月	情報処理学会 第78回全国大会	武田 悠暉, 山本 修平, 西出 亮
147	高田 秀志	モバイル協調ウェブ検索における共有キャッシュを用いたトラフィック抑制手法	2016年3月	情報処理学会 第78回全国大会	道念 幹, 大坪 真悟, 西出 亮
148	高田 秀志	Web を用いた調べ学習支援システムの構築	2016年3月	情報処理学会 第78回全国大会	荒巻 都貴子, 筒井 薫平
149	高田 秀志	タブレット端末を用いた仮想テーブルトップ環境上での協調 Web 検索支援システムの構築	2016年3月	情報処理学会第98回グループウェアとネットワークサービス研究会	井上 忠, 筒井 薫平, 今本 恕, 北田 哲也
150	高田 秀志	Feasibility of analyzing Wi-Fi activity to estimate transit passenger population	2016年3月	The 30th IEEE International Conference on Advanced Information Networking and Applications	Thongtat Oransirikul, Ryo Nishide, Ian Piumarta,

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第1回 認知科学研究センター研究会	衣笠キャンパス	2015年10月	15人	なし
2	第2回 認知科学研究センター研究会	びわこ・くさつキャンパス	2015年12月	15人	なし
3	第3回 認知科学研究センター研究会	衣笠キャンパス	2016年2月	15人	なし

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	東山 篤規	自著を語る：月の錯視—なぜ大きく見えるのか—	心理学ワールド 59号	2015年5月1日
2	北岡 明佳	錯視コンテストを主宰	授賞式を日本基礎心理学会大会内で開催。2015年度（第7回錯視コンテスト授賞式）は大阪樟蔭女子大学。	2009年12月7日 ～2015年11月28日
3	北岡 明佳	トリックアートと不思議な視覚展 (1) ローラー 静止画なのに回って見える	中日新聞（しずおか） 2015年7月23日（木） p.21	2015年7月23日
4	北岡 明佳	トリックアートと不思議な視覚展 (2) 虎の尾 より回転して見えるように色の境界線を丸く	中日新聞（しずおか） 2015年7月24日（金） p.24	2015年7月24日
5	服部 雅史	DVD 認知心理学 第6巻 思考(1)：問題解決と推論，第7巻 思考(2)：判断と意思決定	高野陽太郎（監修）DVD 現代心理学シリーズ 認知心理学／サン・エデュケーショナル	2015年11月1日
6	矢藤 優子	The d2-R test of attention: The Comparison between French and Japanese elderly people.	Qi - Questioni e idee in psicologia, NUMERO 29 il magazine online di Hogrefe Editore	2015年7月

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	野間 春生	電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループシンポジウム	オーガナイズドセッション賞	病院情報システムにおける位置情報の活用	2015年12月
2	平井 慎一	SIMULIA Community Conference	"favorite" poster award	FE Modeling of a Flatfoot Deformity for Improving Surgical Planning	2015年5月
3	松村 耕平	ARG W12	第6回 W12 研究会 優秀研究賞		2015年
4	林 勇吾	日本認知科学会	野島賞		2015年9月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	東山 篤規	視空間と触空間における直線の平行性と収斂性：ユークリッド空間説の検討	基盤研究(B)	2015年4月	2020年3月	代表
2	北岡 明佳	錯視の多面的研究—実験心理学・脳機能画像・数理解析・生物学の手法を用いて—	基盤研究(A)	2015年4月	2019年3月	代表
3	服部 雅史	創造的認知の潜在性と意識的コントロール	基盤研究(B)	2015年4月	2020年3月	代表
4	土田 宣明	運動抑制の加齢変化・反応タイプの違いに注目して	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
5	矢藤 優子	幼児の描画検査におけるコンピュータ自動診断・自動採点システムの構築	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
6	田中 省作	機関リポジトリを活用した潜在的研究クラスターの創出	挑戦的萌芽研究	2013年4月	2016年3月	代表
7	田中 省作	構文変化に基づく日本人学術英語の解明	基盤研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
8	田浦 秀幸	日本人英語学習者（中高生）の英語脳内賦活メカニズム解明縦断・横断研究	挑戦的萌芽研究	2013年4月	2016年3月	代表

9	田浦 秀幸	表象・アルファベット（日英）バイリンガルの脳波様態の解明 fNIRS 研究	基盤研究(B)	2013年4月	2017年3月	代表
10	岡本 雅史	臨床・教育場面におけるトラブル事例の実践分析～帰属バイアスの相互解消に向けて	挑戦的萌芽研究	2014年4月	2017年3月	代表
11	大石 衡聴	事象関連電位を用いた日本語文理解研究の基盤構築	基盤研究(A)	2013年4月	2017年3月	分担
12	篠田 博之	究極の視覚 UD としてのアダプティブ視環境の創造	基盤研究(C)	2015年4月	2017年3月	代表
13	平井 慎一	触覚センシングにおける軟組織のダイナミクス・トライボロジー	基盤研究(A)	2015年4月	2017年3月	代表
14	島川 博光	農家と消費者を志向で結びつけるサイバー・フィジカル・システム	基盤研究(C)	2015年4月	2017年3月	代表
15	丸山 勝久	フレームベースリファクタリング環境の構築	基盤研究(B)	2015年4月	2018年3月	代表
16	高田 秀志	タブレット端末の特徴を活用した即時的情報共有手段に関する研究	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
17	林 勇吾	協同学習活動を促進するペダゴジカルエージェントに関する実験とその応用	若手研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	北岡 明佳	「肌色」の知覚のメカニズムの研究：静脈の錯視からのアプローチ	立命館大学研究高度化推進制度研究推進プログラム 基盤研究	2015年4月	2016年3月	代表
2	北岡 明佳	自転車の走行環境整備における知覚心理学の活用についての研究	未来の京都創造研究事業・公益財団法人 大学コンソーシアム京都	2015年4月	2016年3月	代表
3	篠田 博之	Transparent Display の視認画質指標に関する研究	サムスン日本研究所・技術指導	2015年4月	2016年3月	代表
4	島川 博光	将来の家における生活関連サービスの創出	受託研究・三菱電機(株)	2015年4月	2016年3月	代表
5	高田 秀志	トンネル省エネ診断のクラウド型換気シミュレーションサービス	受託研究・創発システム研究所(株)	2015年4月	2017年3月	代表
6	土田 宣明	運動抑制機能の加齢変化に関する実験研究	学外研究制度・国内	2015年4月	2015年9月	代表
7	矢藤 優子	Interaction Rating Scale (IRS:「かわり指標」)の7ヵ国親子への適用	学外研究制度・国外	2016年2月	2016年3月	代表
8	田浦 秀幸	日英バイリンガル園児のメタ言語発達段階解明研究	研究推進プログラム 基盤研究	2015年4月	2016年3月	代表
9	田浦 秀幸	バイリンガルの脳言語イメージング研究(国際言語文化研究所)	研究所重点研究プログラム	2015年4月	2016年3月	代表
10	平井 慎一	柔らかい触覚センサの医用ロボティクスへの展開	研究の国際化推進プログラム	2015年4月	2016年3月	代表
11	島川 博光	農業の6次産業化のためのIoTとセキュアな情報通信によるサイバー・フィジカル・システム	研究の国際化推進プログラム	2015年4月	2016年3月	代表
12	丸山 勝久	アジャイル型プログラム理解を支援するソフトウェア可視化環境の構築	研究推進プログラム 科研費連動型	2015年6月	2016年3月	代表
13	松村 耕平	オノマトペによる暗黙的知識の伝達メディアに関する研究	研究推進プログラム 科研費連動型	2015年6月	2016年3月	代表
14	松村 耕平	日常に埋め込まれたマイクロインタラクションの計測と理解に関する研究	学外研究制度・国外	2015年10月	2016年3月	代表
15	林 勇吾	協同の学習活動を支援する対話エージェント	KDDI 調査研究助成	2013年4月	2016年3月	代表
16	林 勇吾	視線情報と発話行動から見た協同活動時のコミュニケーションプロセス	研究推進プログラム 若手研究(旧若手スタートアップ含む)	2015年7月	2016年3月	代表

9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1	篠田 博之	眼疲労測定装置	本学以外	その他	2009-012323	2010-167092		
2	野間 春生	聴診トレーニングシステムおよび模擬再音部	本学以外	その他	特願 2016-038515			

3	野間 春生	触覚センサユニット及びその製造方法	本学以外	その他		5148219	
4	野間 春生	行動識別装置、行動識別システム、および行動識別方法	本学以外	その他		4992043	
5	野間 春生	時刻同期システム	本学以外	筆頭発明者		4847824	
6	野間 春生	行動識別システム	本学以外	その他		4701348	
7	野間 春生	通信システム	本学以外	筆頭発明者		4680692	
8	野間 春生	通信システムおよびその通信システムにおける時刻同期方法	本学以外	その他		4512775	
9	野間 春生	心拍および呼吸情報の収集装置	本学以外	その他		4494985	
10	野間 春生	口頭指示記録支援システム	本学以外	その他		4474584	
11	野間 春生	振動提示装置	本学以外	その他		4423478	
12	野間 春生	触覚センサおよびそれを用いた触覚センサユニット	本学以外	その他		4403406	
13	野間 春生	匂い提示装置	本学以外	その他		4183578	
14	野間 春生	体感作画装置	本学以外	その他		4173114	
15	野間 春生	デスクトップシステム	本学以外	その他		4133743	
16	野間 春生	学習システム	本学以外	筆頭発明者		3833144	
17	野間 春生	体感競技中継装置	本学以外	その他		3619437	
18	野間 春生	自律移動ロボット	本学以外	その他		3411529	
19	野間 春生	自律移動ロボット	本学以外	その他		3210649	
20	野間 春生	歩行感覚生成装置	本学以外	筆頭発明者		3200592	
21	野間 春生	触感覚提示装置	本学以外	筆頭発明者		3073712	
22	野間 春生	思考支援システム	本学以外	筆頭発明者		3023082	
23	野間 春生	反射光学系を用いたディスプレイ装置	本学以外	筆頭発明者		2949116	
24	野間 春生	仮想物体操作方法および仮想物体表示装置	本学以外	筆頭発明者		2938805	
25	野間 春生	歩行感覚生成装置	本学以外	筆頭発明者		2923493	
26	野間 春生	3次元形状計測装置	本学以外	筆頭発明者		2918505	
27	野間 春生	仮想物体操作装置	本学以外	その他		2782428	
28	野間 春生	可動プレート支持装置	本学以外	筆頭発明者		2677532	
29	島川 博光	製造工程管理装置				第 3153094 号	
30	島川 博光	プラント運転支援装置				第 3187188 号	
31	島川 博光	プラント保守支援システム				第 3190492 号	
32	島川 博光	時系列計算装置				第 3114273 号	